

県立高校におけるGIGAスクール構想に関する取組

1 学校ICT環境の整備

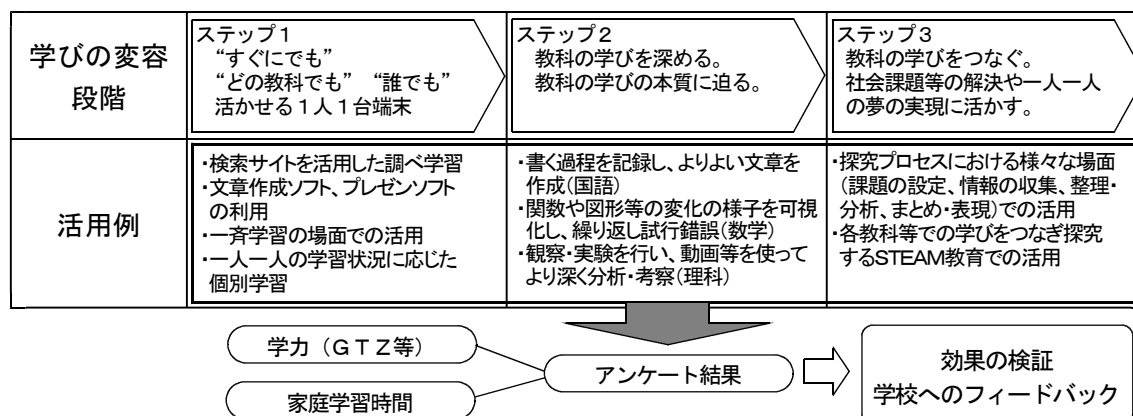
GIGAスクール構想の早期実現を目指すとともに、臨時休業時においても児童生徒の学びを保障するため、今年度末までに、高速大容量の通信環境や校内無線LANなど、生徒1人1台端末や教育用クラウドの活用の基盤となる学校ICT環境を整備することとしている。

1人1台端末の整備	生徒1人1台端末	・2021(R3)又は2022(R4)年度の入学生から順次個人購入により導入 [2021年度は約7割で導入]
	教員1人1台端末	・授業や教材作成で使用する教員1人1台分の端末を整備
通信ネットワーク等の整備	校内無線LAN環境	・全学年の普通教室、一部の特別教室等に無線アクセスポイントを整備
	インターネット接続回線	・学校と外部をつなぐインターネット接続回線を高速大容量化
	配信用ルータ	・高速通信環境の整備までの臨時休業時に各教室から動画配信等を行うためのモバイルルータを整備
	GIGAスクールサポーター	・巡回訪問やコールセンター設置により学校を支援 ・GIGAスクール構想推進ディレクターを委嘱
家庭の通信環境の支援	貸出用端末・ルータ	・住民税非課税世帯等の生徒に貸与する端末とモバイルルータを整備
ICT活用指導力向上	教員のICT活用指導力の向上のための研修等	・1人1台端末を活用した授業づくり研修や、eラーニングで受講できるユニット型の研修を実施 ・全教科・科目でのオンライン指導の実施体制確立
アカウント	教育用クラウドと県統一ドメインのアカウント	・新たに教育用クラウドを構築 ・学校独自ドメインから県統一ドメインに移行 ・学校の垣根を越えた新たな学びを創造

2 今後の取組の方向性

(1) 県教委の取組

- ① ICT支援員等による学校への支援
- ② 教員のICT活用指導力向上のための研修の充実
- ③ 1人1台端末先行導入校（3校）における活用の研究、その成果の普及
- ④ 1人1台端末導入による効果の検証



(2) 学校の取組

- ① ICT支援員等を活用した生徒1人1台端末の円滑な導入
- ② これまでの教育実践とICTとのベストミックスの学びの研究
→ 学習活動の一層の充実、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善